	ş	能	-		ተ	9	ři.	7	<u>.</u>	ァ	l	第	,			-			李	最					i	紅	<u> </u>		草					日了	\ +	月二	年_	:十』	大	- 22	(司	認為	勿便	郎種	三第		(=)	
(帯壁観十四日蔵館)『위ムヌレル』州選出共和黨議員『ギニ爿ー」「おいこ』氏と佛閣写『ギャ』占領で、對から、抗議な決議※キ下院で	佛國『字の』占領の對から	米議員抗議案提出		加続間の粉徴を解決すり爲すり関際裁判所の設置を要求を決議来すべい。所見せばりにほよく事必領十四月發電) 米國上院議員『보ユー』氏で上院の對すり参加、種馬檢査法中改正法		國際裁判所設置案	近世日中の中	六隻水重挺三十五隻階水艦三十四隻(比經費二十四法)第3万艦で使	個年間二百七十萬噸(潜水艦六萬噸航空母艦六萬噸を包含な)を建造 一貫を 日を 伊朗が別言書。 共都電磁立 すりそそ 本言書を今後二十	陸に産化りとこり5十분・今後ニュビに産化り 情報で依むそ佛貞海運帰『サ	基礎確立		パラス他及同以南)	(足己三そ二南方)	(豆己三そ三北方)(耐人五司호他)	任地 (本村已刊中一句)	- 公報の依むるころしの山地方の方	「テマ」地方例軍勢力	こ 食金若干 サ押収 かめの み	8世) 佛軍や『の人叫し』市長令 逮捕な後諸鐡道運轉	佛軍「熨型」市長逮捕	 		一罷業炭坑態度强硬	物合的树	の中立稱可用 馬克時勢回復日一結果三十四日日株式取引~混亂狀態」	故星如斯も政策を執むモル 頗可疑訝不已む中新聞紙七此を戰時事段 (観年外國紙幣を買入せる 显馬克時勢と 顯著可思復むひそ日政府七何)	(伯林十五日發電) 獨逸政府を帝國銀行の事を経由が作類々が巨 二年 一貫		2、マオイニ 自参長の 投票の 仏奏者の 下の 同参覧・山馬をの 不著力 開	・ 女と日右と三國祭員の 受票が放む者の日英國委員会比票決力を参加 宝 賠償不履行中の新の右機械原料等の引渡不履行を添付 がり 卑决定の	も一般	機械其他業料等賠償	一獨逸賠償停止聲明 —	英佛は南の関から極い重大な者のみのみ	対非協議がサニ日共後開展を開かる上型日本台南寺 銀行がそれ台を客院職長14年4月11日の日本の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	234		英佛各大官會見 "	◇ 歌 米 情 報◇ 氏	技物大村光散氏鐵道爪務主任や現場の急行がサバリ	が連絡が外界ダムが損害程度や通信の不充分な으로 不明む非識遺名 これ不通が外のかせり 十七日ミギ引笹間の一囘の客車を往復がか正徒 不	王因おり全機開及伏車士影輛の河を墜落かり 薬務員の死傷が平汽車 上陸 (青島十六日歌龍) 十五日夜の 青島製二十七貨物列車外鎌桶破壊 元。	鐵橋破壞之所以	青島 貨物 列車 墜落 一、R+和網+20向394	一菱がタモの孫氏を前者で自己が首班の『組織が政府书 同様の南方政計書(北京版) 孫逸伽氏が廣東各派の招待で 原料・原東の前往でも第一(1	向	◆ —中國政局—◆ 推
	議七劈頭4大木鐵相4中村氏5質 (東京電) 日本貴族院十七日會	十七日李	上完會議順等	五、種馬檢查法中收正法律案	四、大正八年法律第十二號中改正裁	三、大學特別會計法中收正法律案 58	行むや要替件の對かの審查期限制器	出路珠箕条審查期限专定事件 問題	及大正十二年度詩別會計談入談 一、大正十二年度歲入歲出豫算案	今日十四の問題をユー程ではより	(東京電) 日本貴族院之十七日 己也	十七日	上完會議日四	其目的의途成を期望 一次日本	刊中即時新行の時期別会確認하立 如前我國の現狀や哲選調査の時期から りま	決議	小七十十八天者の熱解の有を後夕刻の散行 三	出席すい左斗如む決議者行う五名と	四國九州北陸滿洲各新聞社在阪支護系	た仮中之鳥公舎堂の現合のユ中師を経れる記者大台や十六月午後一時ュギュニュー	各新聞通信社主催第二囘曹選即行 盲冒(大阪贫電大連総由) 日本大阪 1郎	關西記者大會 大日	普選即行	世	き7以州己上八小其下の内活動하回 公督か立未久の 北京の豆早司 到本 開	一字 寸 通信4同八小二小三監 1	一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	三日	10日本日間がり指提り吹き (車を)	明英斯科王節の中勢農政府外務省 引み	横濱の在や『サエエネ』以そ不遠 対中に通信 早ー中ー 趾日本通信員ニ 野の	(東京電大連經山) 勞農鼷國際 対元の	通信員節國 一地	下的人是15年日到18移民利亚作中对印中一大成人是17年日到18移民利亚作中对印印	「華盛領十五日登記) 常地ヨ日本「中日本」中	十二十十八十五十萬の移民を送げれ	通りみむの掲載むゆの依む今日本『早み』(紐月十五日函館)『早そそ8』の18	日伯移民協	そ期待せいの み	亞の滞留か中 尚且『中叫三斗小氏之君町氏七『ヱ外レナ』會議当院途大侠가 險惡か	(倫敦十四日敬能) 君府來龍で依む日	上一人 巨人 建文 巨河 古已 古已安日念中典世子不可非中心意見可當地	中上院《通過等》法令二星發布里線線可無理方案多少與念者然可且實際類核民法來是	(教育十五日番地) 市民の著書不得の	新移民法案斗米	計畫の有せか『井ー耳の』氏三氏な黄成む(華盛観十四日蔵室) 米銭や陸海軍所	米國國防省設立	對米資价支援を佛調の請求も引の斗(出のウモリ右決議案と 歯際経済食品名
双京配) 日本版政智を十六日及政治	光子 1日 27 1年 1年 時	部側や川原氏を希望すら早結局 貴會議の 4正式のま選擧をおむい	限告がサモリ十六日午前半下完者を決定がユナ七日半代統士會	が火命の忌縮裁や十六月中の候り代議士官や総裁の一任がり足 ぎ	すユ更可代議士會の諮問登順序」なりを対の相談役會及を幹部合を、	奥議長鮮任母裁リモナ六日中の注	1414以外上多次上等界中,途域是异任說斗川原茂助氏司二說 案	以引説の漸次薄弱하ユ今4粕谷 行題と小川平吉鵝澤總明中西六三 恵	東京電大連發電日本議長後任時	川原氏議長就	聖塚定の引の引	一間且今日の本台議を午後一時の	『接受料理器を終りに央目は「の一時早日本會議を開き五午前」	1朝の 裁り耳ゅる으로 十七日	十七日其後任選舉是行動方針の	十六日朝の御裁川外有むきを定る	東京電)日本奥議長の辞職裁判の司上の関イーインが	宽麦辛壬友也 一公	(可説明の有む後午後零時の休と	李祖子中央全世段量中周中華 9月中華人氏三十可農業組合法案 義	野かの間答の行かで其次革新 三夜	午前十一時の開舎が고齋藤宇 (駅が延齢条外一件委員会や十	東京電) 日本衆議院の農村振	层村振興 愛會	が譲ぎ、議とは議長と統合は一个で関が中)(革務派の第田園では近人の発出)	火海祭(養売川養売甲充台港」交見火海祭甲件(議合甲機統) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	該長候補者의選挙 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1月7十月11日1日1日1日 公七日衆議院本會議七午前十時 公	**京說) 日本議長選舉·引對 ti一下院,會 這两日 在	W. S.	りおり延倉小量の三不知ずり 引が答辯の方が立向且當日の終了 中外	比下對から首相海相遞相内相 (中心台運動取締隊第3寅氏の右) 人	学問題、 湯淺凡平氏モ綱紀振	「協定す締約がサマー『早早、本田	サる「兩大使問 ** 日本移氏五 八半	ドラリン 開票 一里	る]間の 移氏協約の成立から 甘のる] 無小 某處を与う探欠り事。投	於成立	リテント 前古 の	R9到着サ9994男王升4上 2015進路外防得耳9隻馬尼	7十二年其代表『マムマミみルト ニージに 八日	新日 7月	下院者通過費不至不知前十一 第四十二	七報道で観りい米調政府監・補助と認識が個人を排斥も兼材	図當局	谷骨合併が中間防省ニュッ (1) 11日 (1)日本 (兩省合併 下	柴
以演說可內容等可對計作協議书五字	197阪谷船越稲原他田藤村各男のレマ牛の研究は3月風田青木州氏公正3	(疾院內休憩室司 日十九日午後二時日本十	演說者範圍等	听公兩派協議	故是 此时對心容辯도 要为中门	東意志を世間の發表も者の不過 + 意を喚起を者引으로貴族院の2 年	幸講究も者가りHヱ單も將來의 目	可立其方針を定めらること決議	中省日を各組豪斗大體の協議を局の切迫を事品十五日正午の休	香館究首中州で事と無おユユ科	き通かの該解を得可五承認を得	対し日比り對하り投行則を研究交別新決議案を十七日上程하り	、東京電大連經由) 日本貴族院	外交届 郑 篇 第一。	5日,次是 好	1事情の因うら十七日呈延期す 愛のモル十六日4代表者の協議共 "	提:	s 广大工是出新及赞成哲学署名 會!(東京電) 日本貴族院学外交決 會!	111	サイサン 一日 一日 一日 一日 一日 日日 中国 日日	修正論を有すめる十大勢順應主 http://www.	東京電大連經田)日本貴族院	協議 是 養成 看	上院各近線會 土	東京	貴成寅成哲や山内長人男の引 海4 港縄由説明者や蜂須賀正昭 (液忠三郎男 池田長房男 期	工作 木越安細男 船越光之	林博太郎伯 黒田清輝 1	究會 近衛文磨公 蜂須賀正 中村	央定計9日 ・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	果京電大連経由) 日本貴族院 屈な	下泛 測 是を苦 可言	1日之かり瀬田氏以下で近半度で埋む。日本の三次郡投票が川田のでは、日本の三次郡投票が川田のでは、日本の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	投票機数三百二十一3百六十/信任。裏はりそ望むけ五告は五投票木段	非議長の候補者三名を連記すの發行を後申1程第一議が選挙の対し	時早日本會議寺勝ずみ諸般和 火副米京電) 十七日衆副院で14年 寸ツ	粕谷氏被選	爾長投票	出源治氏三大略內定可久可引對中	紙長の動許小有も以上副就長 年次	者 神田済兵衛 第三候補者 (中	一族簡者 柏谷経三 第二歳 本二歳	11年77十時を早日開合す五木 内窓館) 衆継院職長 候補者と答辞	京中に11年的上海上京東 東京 ・院議長决定 第4年	漢鷗のリミ決定がクロネ 歌音の音楽の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
-石の文令の三十四十五五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	一無が火工政府コ資却縁起高を二、「無が火工政府コ資却縁起高を二、「	豆申請者中最多な七消費組合勝	《八囘白米寶却成績七申請口數三字(東京電) 十五日 5 覧出 3 政府	成績良好	政府縣米放賣	会行の八月豆早日運轉き開始む!!!	下日本鐡道省の片協議中でも	(東京電) 日本東京下陽間三等	東京下關間	二等特急運轉	早日退去早命さ受하めのみ	退去命令	中國勞働者	11年	や演説等の方が五十時の散會が 百年職級官の三趾を除き事を期む 百	図的態度呈如斯亞政黨を帝國政 自計会 おおきがい	の角且此の繼續する小宗氏三年計	『曹澤案『通過の奮闘宣事号期 朝『七吾等を奮然可参加可五且論 胃	マ全國記者同盟早開催せ曾選大 和フィーLIIIで8女 Zで下記さり	の名の日常は美山左りが義計は間の開資が立場、堅月、鵜澤外二計	百千十六日午後六時ミ早日烏森 朝 東京電) 日本憲政會關東代議 朝	憲政代議士會	四月不能も者豆看做す	5月演説も質劇的3言解引の三 側近日の衆議院議場の付政友氏床 八	大議文・別左がいり 九川が倉舘・開催が立協議がダモリ 百二	-三州合や十五日夜六時ヱ早日 九期万難ノ遊戯日) 日本策岐県 44	院の對から八	床次氏의演	高 政派决議 [4]	・ツリスタ 英言を保留を後休三旦	事不進行の費を政友會の在計五章	工機時間の料工討論を決心の一般	論コ抑壓の引如斯並妨害の不 状記の政友は小妨害が多るも明白 大H		害かりひと言い對から態政派	一個條手利用하咔中國斗主權 加克代表床次君子大股內閣當時 司 時間	の闘も重要条件討職で際する 百十四島	が中心の製みの送放台の種母三二年	職長の休憩中各派の諒解を得過のものを見られる。	はいい 一部上級大夫は川坊下の町の場が、一部上級大夫は川坊下町の場合を開かり、	大十十十十二人の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	→ 深関比較小行時火命ニ星棋	金キ同氏 年 済 税 中 大阪 八隅 ギーニリー 演 税 中 憲 政 會 水 盛 甲 騒 ギー 十三	五日月巌 混亂甲對丙卟最初都在《京川大連経由》 日本総政會千八	根母木憲政總務談合計	次(文言)企文(文) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	で境遇する公正會写池出男で 飼材で中高若無所願った半は質問 京都正常網一人研究管側二人の名	関係が立後炎型山麓明省七外 1
人一三十五町步以上朝鮮人一字町 人一三十五町步以上朝鮮人一字町	・「ラリニデデザース)・「 申録人計11萬二千二十四名せせ其中七六百六十五人) 外見人二百四十二	ぶっこう トリスニョリーン本人三千百十七人引鮮人一萬八千別人員き 見せ今 納稅人員総數日	泉城府の市街地税納税機務者面積	城府市街地稅	第一年 1171111111111111111111111111111111111	9十三間,心線總計四千三百四十四,此心勝列長二千九百二十里十	というなほとによります。 一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一		三周 延長十六里十周 以上心器 计二十二时二	这一个是最重要人里。十二万二、是六百七十二里十一町二十周 在		2 四百 九十九萬 二千 百四十六。	用手C 男子以為人写化片重、重商通、歐文 十六萬 六千四百三十七	文 四百三十八萬 五千八百二十 大百七十一圓十七錢、(中繼信)	二人則七十錢、計金二十一萬二卷	江側四十四銭、歐文 二萬六千四年代末代、「スープリー・アース」	发育斗论》 计文 十八萬八千三 lat	文 一萬五千四百三十一道 文	文 五十三萬六千百二十次通	三十五萬九千二	文 六千九十七通 極	文二十五萬二千百八十三道小	袋、(配信)	電話料金二十七催三千九百十圓 	百五度、市外通話料金 十四萬 四五度、計 二千三百二十三萬三千	奥五千度、市外二十三萬八千九 H	胃、 道舌复数节内二千二百九十一十一名、 笔話 機械六千九百九十一數	建、(電話)電話別入者四千八百 廢白五十二萬三千百五十八圓八十 穀	既'貨物運賃七千百九十四圓'計 可五十一萬五千九百六十四圓八十 距	六千九百嵐三十四人、乘車賃金 が長十八哩脳、乘車人員三千百二 出	多) 運轉埋敷市内二十八哩强、同・北京車をデナ会、アップ・ラー	直)在改写允益(为之引)式十一型型号 产斗如司司斗	C→商業會議所の 4調査むりの 米止十一年中の府内電車電信電話 II	昨年中狀況	起車電話電話	からら 中一一直の十二直の場です。	一萬四千三百四十二圓の比至三三二萬四千三百四十二圓の比至三三	7. 百八十四世 トネー・コープ 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	· 注:「一川 一寸花一百:「一路」「小波少平五任受金+都市七十三」如:	8月8比 のの子五百九十八関の「公子一萬四千五百九十八関の」	百四十二萬百九十二日 合計 公司市九千九萬四千四百六日 村	于两千八百八十六晚中增加井 1	「東二千六良、玄関 合い土萬二十二萬二十二	· 七六萬九百二十四國。	安年度十二月マ比の小一萬八 投票	百七十九萬九千八百三十八州 人 貸付都市で三百 裏四千二州村 人	游途三十九個所內一月中平成人三 演會聽組合聯合會管內都市 三二	只 能金組命會
水むいりみ	松川・オーニー・北川・石坂とは、柳湖浅田金華河の制戎野便局き設州二月二十一川早ら成績北道篠坂	訓戎郵便局設置	川倉歌室の月水産倉設立協議会長!	水二十二十一日兩日間總督府第一十八百一十二十二十一日兩日間總督府第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	き受理むり引引	吟三月一日早日十日々刃入學申請。 早日各校の月入學書用紙を交付する	京城府公立曾通學校之來二十日三世	公 等 交 兒 童 募 集	計川昇斐の引(未完)棚の又大減可五鎮南浦木浦モ中山橋	今中其後の衰微の狀態かりの輸出 医平額十萬石輸出の不下をでるりの	1輸出を最可殷販を極ず呼仁川単学のである。 3 皆断 ブジ・在でもほう	司上了了上落并大型了任业制作长了外别的全最近可歐洲戰後可舞量的一小	BT商勢外全対大連可移が呼背島 e板初安東縣の2其後距今二十九年1日	八連及青島方面与輸出の對かのとし、十二日中川の不得して批加ののよう	中海戦の日本技の朝鮮米の移出し	「外途司司年七月二十七日彭湖縣」「國交問題小漸々形勢小不穩하게」「	失敗の終すヱ如斯司하そ間日清 十八阪移出る記せ者5月まりも一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	にいっている。一切は、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、	- 敦远は鏡げるお州ら事を有하り ナ	移出を試む中結果、良好する合	ですりた高表を買入りまた反この此買取の着手がの同年七八日	時奥田氏及各貿易商の相謀が立かが発前暴殄大物の耳まるの忌	《合の不拘하五朝鮮人の消費者外輸入司と清賦米と品質。良好す	可解除耳吹七刀斗然而一方朝鮮 段の手を上げる	A F T F T T F T F T T T T T T T T T T T	ド南学門丁隆を刀命りと調祭的 ない 歯時仁川を始かい朝鮮各港の在 値	二三三萬俵日輸入を見が川日から	を行む立清域米斗喩入を固むの する	受令으로越『韓國政府を突如防 四十二十一年前『韓國版府を突如防 四十二十二年前『韓國版作》不予 3.	・近の其数量の砂少のダモスは 囲いが近の其数量の砂少のダモスは 囲い	皇丞年村川斗火ム十十三米川七 京で濫觴り中云を入る領水立米コギリー	日此小朝鮮立米早大阪移出せ見り10年の大学の1991年1991年1991年1991年1991年1991年1991年199	移出き企むい各自籾摺事業を開いる出類を築可り合うの対して	* * *	大三夏を150人ではずり皮墨 東京中白米の限む人の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の男子の	殆 遷	すりと過言のひのみ 本学教秘出取引の依む結果み立 高数	予四五百名●三激增补州习以4/颁紡△十距今三十二十三四年前頃中卒然 雨彩	⊁僅々一千人内外コ像々も及る 大歩すも距ぐ三十五年前頃も日本人	金山元山平二港では、七川港平田元山平二港では、七川港平田の大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	米輪移出沿革	+:	人大百九十七针三角 位千百五十 大月丁二人朝鲜人二路四千二百七十 五月	右二星美 肥番敷モ 地人一萬六 四月八一萬八千百八十四外八百六十 三月	S未漏日水人二千五百二十人朝 二月八三百二十七 人外人四十八名一	随步以上 本人 百二十人朝 日四十名 鮮人百一人外以十五	二十七外人八名 1.段步以上日本 町步以上日本人百二十七朝紀 -	5本人八朝鮮人八外人三一町步以上日本人二朝鮮人七五町步以
部大資料五側九十段。豆七十銭9円上でです。	大新七九十六國二十錢将付司中步中步調八十錢二呈九十錢叫止司五一	する安取モニ十六両九十銭寄付す! 付す! 歩調ニ十銭のヱ三十銭で止. 	二十届2星司所四十八間三十遠が新局五十銭3止むユ仁取落そ一百回なって りょうけいここ 十銭45	見計引 子更対大十副コ三十銭2mkm海落が外五十九脚九十銭やお覧へ前進ませりまりた十個九十銭のお覧	前生144年後代:町も一種とり・歩調二三十銭으ュネ高便一関々	12.十九一艘逐步汽一脚一桅浮寸人冢之軟弱市州立曾市州京取之前,对于五周八十纪。5人员至时	明場や多少活氣三止むり後場や大明場や多少活氣三止むり後場や大	 	10天の一月の一月の一月の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の日の一日の	M製 f 原理を第一目標七十三側圏山州事闘の 叶結局を押目買り時代	の十多少高低等小波瀾を相場等一次破上進みを初程を暗示する天子	昇降하다가咋日早日六十圓臺書	漸落すり四十二圓四十銭の最低		·一圓八十錢來週二圓三十錢丸信 ₄ 、八圓亞新三圓三十錢京信舊五 ₇	関殖新十二関九十殖鐵七圓九十十g 比す 5人 3週間 5 七京取來週六十 g	一段・豆七圓々不結局六圓五十錢 優大十七圓五十銭者作さ。 ガ誠也二阪	一と聞いて後が十十十分月以これでは、一段の立二十銭の止むの大新やち		が近番	# 31 :	株式作買人 金 應 龍是	地	□ Z五十錢 叫止하고安取七二十 何	皇五六十浅州氐下补作精前七十一今々刈寳買が引水井後八圓九十錢(順)十金8688811	■大下後子が平下女と「今」でして一百二十一圓・豆同刹・四十	杓は日約六千株取引耳気五仁収金應能中津井口白柴三洪股柱洪	女日を蜀秀好卒為投其名り 1 買いおって 司がり とり 手振り と 買方川崎中では カック・コープ	ド風入化け後医生みな岩形一型とおけ銭の保勢が可り其後一圏の足 綿ぎる一個ナナ銀の三端落での三 同	トレールル・後上と所子小キ三山流付すら歩調士銭・早二圓々ス・晒	以を作出とりて十銭高さ六十二十組本場人気を多少活気を立合すり、一組	一百八十一圓二十後の呈入電平に別大新の九十六圓六十錢鐘紡新同	削場先高後低	京以市場	. 四九、七〇	1011大0 1011五	四八、七〇 四九、八四九、八四九、八四九〇 十〇 二八三三	が、三〇三、九〇三、九〇一九七、三〇一十七、三〇一十七、三〇一十七、三〇一十七、三〇十十二、一十十二二〇十十二、二〇十十二二〇十十二、二〇十十二、二〇十十二、二十二二、十二二、	ーーも、九〇 一一七二	名 解 。	棶	展 二五大、五〇 二五六、五	《股 二五四、二〇 二五五、〇〇 大。股 二五四、一〇 二五三、九〇 仁	限 二五、一大〇 二五一、〇段 二四八、四〇 二四八、四〇 二四八、三	限二四五、五〇二四五、大初 付 止 值		大阪三品	奇.
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 1		元 30	三國()	大型型	900 m			後場 前島 後度中 來週中	買價 十七日	・・・ 営服	打場と可食質小りでを引きせる。足が何如む情電の	仮心市等。屋井で切す	一十五億三十錢。三先限4二十五一十五億三十錢。三先限4二十五	常限を不成りよ	餞も高級量接が立立首が 後場が入が非大阪初付三	き銭 川高	出折の	接 으 う ユ ニ	上復 4 三 計 1 二 斗 1	きねょ	希腊亚中州农地多一流苏。 是早年的东西元日日 《里市中水客》稍以第二年中水客。稍	ት ቴ : ት ዘ :	作せり 二前・	<u> </u>	•	5 \ 1 \		三五四、〇二五四、〇二五四、〇二二二四、〇二二二四、〇二十二四、〇二十二十二四、〇二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	金布進事 三、五〇派	二 、	1九〇〇	二四七、〇〇	1七0,00	十五日前場	1			がは、大きない。	限を	义,斯		九六二〇 九五七〇	二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	大〇一〇 大〇二〇	九大五〇	セスの 100 110 110 110 110 110 110 110 110 11	10 動
东岛(图·公里)	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	動傷 1400	(明) [] () () () () () () () () () (明新() () () () () () () () () () () () () (東新路 笔0	PA02	阿利格 1601	******	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	探名 前場 後場 前場 後場	復沸騰かり當中雨	头하ユ反騰がそ依然硬勢渇き も當市場を阪地三十圓登手割	六節(阪地九節〇八銭も小高サ外大十一銭の止むり	中が調べ	光限七六十二段の始めの六十銭々五銭のと更可三十銭々刃反落する	や不成り小印限を三十銭の始むの二銭の稍衡低落の執き受け五當限	五節 阪地七節〇七銭八	가글		四節・阪地六節〇九銭も情楽	又そ「ひ」	^{附港} 町 村	<u></u>	H >	七折川	로 기	十如色 11 包 9	Ż		+一一年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	刊早事の斗作戦計劃を固守不緩して 採弊上今後損益の如何もそれを	王寶戦策者敢行司を模様の引之一日 富限渡米の供立村司を持続の日本人口	不既可抱藏立現物の有智二呈此一不!	一時で約萬餘石の資退三人気を動搖 関い地市場を約11百丁反撥を致かを関し	場の形勢小俄然沸騰する件斗常に	べきりなげたしことトミートは 焼む態度呈防戦不怠りそが兩三 ・	の近年に長さるないとなり、地域教派の首組と注目がそ有力・地域		を止めり高低の差が三世 ・	一段のよう	一後叫止計り上計り	お歴典や七十	例の突現がい中観せ	『七菱』を北区りょとは子 「まなび後六十九銭々以小池がまけり「銭」「118888888888888888888888888888888888	下立義一コとに及りにより、前の三部、常規や亦不成り中中限の単端変すり但一口を判止がり、一般に	先限七六十九銭の始めで集画七里 小道	阿山	の一般。その一人に川米豆取引所仲買人
多数	高銀 10.3		וטאָט	九つ	三层	中级 清 七〇	豆0			你名 前妻 後知 前子 浅	本規總取組高	发 以 八萬四千二百石 先 限 三萬五千石	中的限制	r F	二十五脚七二十五脚八	三節 二十五圓七十九時	定 價 格	二十五脚七十		六日後場(電話	二十五側六十	二十五圓六十四二十五圓六十七	二十五侧八十二十五侧九十	定 價 格二十五四六十	高價 二十五則九十錢	すった。	シスの無かい 立が主唱のいい	寛下も亦發表が見る予財界小板 5米も買上がそ其反前のそ古々米	たか引引五力説の小軟派側のおそびかとス?便派七叉一般の協会を	4、果然買着登時可何如も除影可波を感を引き、 は、	止む。早一邊地方産米コ高唱すり斗其價格範圍ル前回上斗高低	三十五六萬石の數字はも由せせる異比がリミ決議激表せ前後一		上町り呈決定するそのす客月中、其原因も最初政府呈月百萬石も	今以來是各市場当俄然暴騰す示	前金良公可 III	近後の内更各年小上年中他のステントである。	《《天下以赞》合作小三境中对小"等技术正衡中两股"不成《时光"	行三節 文創立節トルリス度ト	遊り中七十五銭の三奔落で後 s 一般・1 m - 1 m	7十中限4四関五十五銭一口三級セ小落の報子練が立着観子不	▲第二節 仮地三節十七號四節十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	七九十段ユミ昨北便ユサニ丁紙第一節 食中殖民・不成り小先	1977年のプロでは、1987年のプログラングでは、アイ・プログラングでは、1987年には	はしいいただがはことにより、	更進成力号是も猛烈等斗七十三十二次の一人を設立している。	一般部 電話巻三つ七	- 111

